

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	38435	
事業名	奨学金返還支援費						
評価担当課	所 属	経)産業振興部 雇用労働課			電話番号	011-211-2278	
施策名	安心して働くことができる魅力的な雇用が安定的に確保されるとと						
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外						
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費			○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理費			
	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助・助成 ○ その他						
事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	就職を機に道外へ転出する若者が後を絶たず、特に20歳代の転出超過が継続している。また、大学生の約半数が奨学金を利用し、2. 9人に1人が貸与型を利用している状況であり、将来に不安を抱える若者が多くいる状況。 そこで、札幌市が認定する企業へ就職した学生等に奨学金の返還金を一部補助する事業を実施している。					
	事業内容(何を実施し)	奨学金返還支援を行うことで、連携中枢都市圏内の企業を就職先として選択する若者を増やし、道外への転出抑制を図る。定員は毎年150人と設定し、年間最大180千円を3年間(最大540千円)を上限として返還支援を実施。市が認定する企業に就職して1年経過した後に、返還した奨学金を補助する。企業に対しては、市が支給する半額の寄付を募り、応分を負担する(保育士等を採用する社会福祉法人やNPO法人等については例外あり)。					
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	当該事業を通じて、認定企業への就職数が増加することにより、企業の人手不足解消に寄与するとともに、若者の地元定着を促進する。					
	他都市の状況	道内では旭川市、釧路市等で実施しているほか、39都府県で同様の事業を実施している。					
	市民参加の実施	☐ 企画 ☐ 実施 ☒ 評価 ☐ 対象外					
	令和4年度決算額	11,780 千円	うち特定財源	10,223 千円	正規職員業務量	0.5 人工	
令和5年度予算額	36,000 千円	うち特定財源	36,000 千円	正規職員業務量	0.67 人工		
令和5年度決算額	22,791 千円	うち特定財源	22,791 千円	正規職員業務量	0.67 人工		
令和6年度予算額	50,000 千円	うち特定財源	50,000 千円	正規職員業務量	0.67 人工		
指標	アウトプット活動指標1	認定企業数(累計)【単位:社】				という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		270	300	369	380	420	460
	↓						
	アウトカム成果指標1	支援対象者数【単位:人】				という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		108	150	110	150	150	150
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	令和5年度の支援対象者定員は当初100人だったものを事業の波及効果を高めるため、150人に拡大したもの。認定企業数は想定を上回る進捗であり、それに伴って令和6年度は支援対象者数150人の達成を見込んでいるところ。					
	アウトプット活動指標2					という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	↓						
	アウトカム成果指標2					という状態にしたい、成果を挙げたい	
令和4年度実績		令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定	
指標2の評価、未達理由、今後の考え方							
今年度の見直し内容	事業の進捗は順調であり、特段見直しの必要性がないため、前年度と同内容で事業を継続している。						
来年度以降の方向性	支援対象者数及び認定企業数は順調に推移しているため、引き続き他事業とも連携しながら事業周知を実施していく。						